

三鴨小だより

学校教育目標

やさしい子 かしい子 たくましい子

第8号

発行日 平成30年7月6日

発行者 三鴨小学校長 廣田 昌英

巻き尺の使い道

毛塚先生の研究授業が行われました。3年生の算数で「長さ」の単元です。これまで長さはすべて物差しで測ってきたのですが、この日の授業で扱ったのは「走り幅跳びの記録」と「(丸い)時計の周りの長さ」です。まあ、物差しで測れないこともないんですが、かなり無理がありますよね？そこで登場するのが巻き尺なんです。そう、この日の授業の目的は、「目的に応じて測定器具を選べる」ことだったんです。3年生は巻き尺の威力を十分に理解できたようです。その証拠に、授業の終末での毛塚先生の質問「巻き尺はどんなときに役立ちますか？」に対し、子どもたちは「長いものを測るとき！」とか「曲がっているものを測るとき！」と答えていました。しかし.....私はある子のつぶやきを聞き逃しませんでした。その子の答は「海に落ちた人を助けるとき」だったんです。ふふふ、頭の中にその光景が浮かんできますよね？果たして、巻き尺が人の体重に耐えられるかな？5年生になって海浜自然の家に行くときは巻き尺持参だね！

育児休業中だった舘野恵先生が2学期から復帰するため、子どもたちが毛塚先生にお世話になれるのは1学期までです。毛塚先生、大変お世話になりました。

どれにしようかな？

本校には「企画」「栽培・福祉」「運動・保健」「放送」「図書・掲示」「給食」の6つの委員会があり、すべての5、6年生がいずれかの委員会に所属して活躍しています。委員会活動はみんなの学校生活をよりよくするための自主的な活動なのですが、6月下旬には2日間にわたって委員会発表集会が行われました。それぞれの委員会の活動等を周知するのが主な目的です。発表はパネルを用いたり、映像を使ったり、クイズ形式にしたり、劇を取り入れたり、聞き手に伝わりやすいように様々な工夫が施されていました。しかも、「休み時間終了の放送があったらすぐに校舎に入りたい。」とか、「きれいに花を植えたので、花壇を荒らさないでほしい。」など、その熱い思いも伝わってきました。

5、6年生諸君、みんなとってもカッコいいぞ！1～4年生のみんな、5年生になったらどの委員会で活躍しようか、迷っちゃうよね？

夏と言えば・・・

その日の4年生の国語の授業は、「夏のことばを集めて俳句を作ろう！」ということで、板橋先生が子どもたちから「夏」から連想することばを集めていました。「海」「花火」「キャンプ」.....たくさん出てきました。「旅行」も出ました。いやいや、旅行は夏だけじゃないだろう.....と、突っ込みたいところですが、子どもたちにとっては夏休みの家族旅行がとてつもなく大きなイベントなんですよ。それにしても、親にとってはけっこうなプレッシャーのかかることばが続出です。子どもたちよ、夏休みの家族イベントはとっても楽しみかもしれないけど、大人はたいへんなんだぞっ！

夏休み 親への感謝 忘れるな

伝える工夫

4年生が音読発表を行いました。男子400m走の日本記録保持者の高野進氏が書いた説明文の発表です。「海！」とか「花火！」って連想ゲームばかりしていたわけじゃなかったんですね。見事な音読でした。しかも5年生の発表に引き続いて視覚に訴えるサービス付きで、「膝を高く上げ過ぎないように走る」とか「腕をしっかりと振る」と説明するときなどは、平行してステージ上で悪い例と良い例の実演までしてくれました。音読発表ではありますが、内容がより伝わりやすいように工夫して、読むこと以外の伝達手段も用いた発表でした。お見事！

で、感想の発表です。ある5年生の感想は「点（、）とか丸（。）のところで、しっかり区切って読んでくれました。」でした。私は感心しました。句読点という単語を使ってしまったら下級生が理解できないと考えて、「点とか丸」ってことばを選んでくれたんだと思ったのです。集会終了後、さっそく本人の所にほめに行きました。そしたら本人、「句読点って何ですか？」.....おい、おい、そりゃないだろ？